



# 豪雨の中、大地震発生！

あなたならどうしますか？

## 愛媛県総合防災訓練



- ① 救助者を救護所へ運ぶ自衛隊員
- ② 電気の復旧作業訓練
- ③ 鬼北町女性消防隊と自衛隊員が協同して炊き出し訓練
- ④ 消防署員とともに消火活動訓練にあたる鬼北町消防団員
- ⑤ 避難所の様子
- ⑥ 倒壊建物からの救助訓練
- ⑦ トリアージ訓練の様子
- ⑧ 運び込まれた物資の数々
- ⑨ 豪雨体験車の様子
- ⑩ 土砂に埋もれた転落車両からの人命救助訓練



10月19日、鬼北町と松野町を会場として、「愛媛県総合防災訓練」が行われました。今回の訓練は、前日からの大雨で土砂災害警戒情報や避難勧告が出される中、四国沖を震源とする大規模地震が発生したことを想定。両町の住民や関係機関（112機関）など、約6,100人が当訓練に参加しました。

メイン会場である鬼北総合公園では、倒壊建物、土砂埋没、転落車両等を想定した救出救護訓練や、ライン復旧訓練、避難所運営訓練などを実施。一方、サブ会場である松野町虹の森公園では、転落車両からの救出訓練等を実施。1人でも多くの命を守るため、各機関が連携しながら災害現場さながらに訓練に挑みました。

訓練終了後、中村時広知事は「人の命、社会、産業が守られなければ地域は守れない。今後も、一人ひとりが高い意識を持って、防災に取り組んでほしい」と、挨拶しました。

災害はいつ起こるか分かりません。家族、仲間の命を守るため、落ち着いて考えられるうちに、自分の取るべき行動を頭に入れておきましょう。